

平成19年度

	指定管理 導入の 有無	名 称 ( )は 地区館数	図書館基礎データ						職員数		自動車 文庫
			人 口 (千人)	開館 日数 (19年度)	蔵書冊数		貸出冊数		職員	嘱託・ 臨時	
					(千冊)	冊/人	(千冊)	冊/人			
	なし	津山市(3)	110	343	370	3.36	586	5.33	14	13	1
		対平均値	→	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	
1	↑	岡山市(9)	683	278	1,465	2.14	3,961	5.80	35	36	4
2		倉敷市(5)	471	291	1,219	2.59	2,727	5.79	39	23	2
3		玉野市	68	280	188	2.76	264	3.88	6	4	1
4		総社市	67	293	228	3.40	414	6.18	5	8	1
5		笠岡市	57	277	128	2.25	194	3.40	3	3	1
6	なし	真庭市(2)	53	288	117	2.21	117	2.21	4	4	1
7		井原市(2)	46	276	208	4.52	205	4.46	4	10	1
8		赤磐市(3)	45	254	206	4.58	328	7.29	13	13	×
9		備前市(2)	41	270	113	2.76	131	3.20	9	3	1
10		瀬戸内市	40	287	20	0.50	27	0.68	1	1	×
11		浅口市(1)	38	262	164	4.32	171	4.50	1	11	×
12		高梁市(1)	36	262	119	3.31	48	1.33	3	4	1
13	↓	美作市(4)	33	264	92	2.79	75	2.27	3	9	×
14	地区館 に導入	新見市(1)	36	282	149	4.14	165	4.58	1	8	1
		平均	122	276	315	3.26	631	4.35	9	10	
			千人	日	千冊	冊/人	千冊	冊/人	人	人	

アンケート調査結果より (指定管理者制度導入後の状況)

導入済図書館(37館)の状況を見ると、「導入後の検証結果」という設問に対して「導入前のサービスレベルに比べて良くなった。」との意見が回答のあった24館のうち12館(50%)であった。

運営経費については、導入後の経費が少なくなっている図書館が83%であるが、その内容は職員の雇用形態による賃金の減少が主たる要因である。